一 般 質 問 通 告 書

佐野市議会議長 様

受付	番号 18	
	令和 2年	5月28日
	午前・午後	3時00分

議会名	令和 2 年 第 4 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 12 番	若田部 治彦	
答弁を求める者 (選択してください)	☐ 市長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 担当部局長		
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	あり (資料提示・資料配付・モニター使用) ☐ なし		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 新型コロナウイルス感染対策における次亜塩素酸水生成装置導入について (1) 新型コロナウイルス感染予防消毒液の現状について (2) 消毒方法の選択肢として現在使用に至るまでの検討について (3) 政府が有効とする消毒液の提唱	①市庁舎におけるエタノールは医薬機関や介護施設に優先的に供給され市場に出にくくなっていると言われるが本市で使用している消毒液の現状を伺いたい。 ②市庁舎における新型コロナウイルス感染対策は長期的な取組みが予測されるが、消毒液の経費について見解を伺いたい。 ①市庁舎における界面活性剤・次亜塩素酸水・第4級アンモニウム塩・過炭酸ナトリウム等もあるが、現在使用に至るまでの検討がされたのか。 ①市庁舎における新型コロナウイルスの消毒に70%以上濃度のエタノールと、0.05%以上の次亜塩素酸ナトリウムを提唱しているが消毒液を設置することについての見解を伺いたい。		

(4) 次亜塩素酸水生成装置
について

②市庁舎における次亜塩素酸水は主に機械で生成され食品衛生法上の食品添加物に当たるものでは食品を洗うことも可能となっている。次亜塩素酸水を設置することについて見解を伺いたい。

①日本国内において不足が顕在化しているアルコール消毒液等の安定的な供給量の確保を早急に実現することを目的とし、市庁舎に次亜塩素酸水生成装置を設置すべきと考えるが今後の取組みを伺いたい。